

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 ちとせ交友会
施設名	原尾島こども園
報告者（役職）	竹内 はるみ（園長）
住所・連絡先	岡山市中区原尾島一丁目 7-5
	 086-273-2730 E-mail haraoshima@chitosek.or.jp

### ○タイトル（保育計画）

よい絵本との出会いが子どもを輝かせる！！  
～ワクワク・ドキドキ 時に悲しさも…生きる力の原点は絵本から生まれる～

### ○主な助成備品

絵本・紙芝居

## 1. 保育計画策定の目的

2021年4月1日開園致しました。

私は開園と同時に園長という立場で勤務させて頂くことになりました。

幼児教育に36年間関わらせて頂きながら心が育つこの乳幼児期、絵本との出会いが  
いかに心を育て人間性を豊かにしていくか、字や言葉への興味にも繋がり、絵本に触  
れる時間は人として育つ上でとても大切だという事を実感しております。絵本の世界  
を知った子どもたちは、輝いた瞳で絵本の世界を楽しむことができます。好奇心・夢  
や希望をもった子どもになります。友だちのことを思いやり人の痛みがわかる人間に  
なります。

原尾島こども園の子どもたちにも良い絵本に触れる機会をもたせてあげたい、身近  
に絵本のある生活をさせてあげたいと「図書コーナー」もつくりました。ゆくゆくは  
「絵本の貸し出し」も行ない、ご家庭においても親子で絵本を楽しみ、大切な触れ合  
いの時間に、愛情を感じる時間に、絵本を活用して頂きたいと願っています。

立ち上げの初年度でコロナ感染予防もしなければならぬ中、日常に必要な備品や遊  
具等の購入に迫られ、絵本の購入がままならない現状があり、絵本の内容・冊数もまだ  
まだ足りない状態です。そのような時に、第一生命財団様の企画で助成申請を知り、花  
開く未来が待っている子どもたちのために、是非良い絵本に出会わせてあげたいと願  
い、保育計画を策定致しました。

## 2. 具体的な実施内容

- ・毎朝のお集まりの時に、活動の合間に、お昼寝の前に、お帰りの集まりの時に絵本の読み聞かせをする。
- ・朝の自由時間の時に、自分の好きな絵本を選んで落ち着く空間（絵本コーナーやお部屋）で絵本に触れる時間、保育者に読んでもらう時間（0.1.2歳児は保育者のお膝の上で保育者と子どもの1対1で自分にあったペースで絵本を読んでもらえる時間）を大切にしていく。
- ・4歳児から絵本の貸し出しを月2回していく。
- ・沢山の子ども達に読み聞かせをする場合は、絵や登場人物の表情が見やすい紙芝居・大型絵本も使っていく。
- ・0.1.2歳児は描かれている人物や動物の表情がよくわかると発語にも繋がるので、個々での絵本の時間を積極的に取り入れ、絵本の絵もよく見えて自分のペースでページをめくれ、ゆっくり絵本を楽しむようにする。
- ・5歳児になると、「エルマーのぼうけん」「ももいろのきりん」「ロボットカミイ」「いやいやえん」などお話を聞いて自分で想像し楽しめる童話絵本も読んでいく。
- ・親子の方が参加できる園庭解放で、保育者が絵本・紙芝居・大型絵本を読む時間を設ける。

1階 0.1歳児用の絵本コーナー設置



2階 2.3.4.5歳児用の絵本コーナー設置



絵本コーナーを色々な時間に利用しています



《絵本の貸出》好きな絵本を借りる日を  
楽しみにしています。

### 3. その成果と評価

- ・0.1.2歳児クラスでは、個々が好きな絵本を選んで1対1でお膝に座って読んでもらうことで、愛情を感じ、心が満たされ幸福感が持てるようになる。
- ・沢山の絵本から自分の好きな物を選んで読むことができる。



子どもの表情が輝いています。絵本のもつ力は素晴らしいことを実感しています。

- ・絵本を読んでもらい、ワクワク・ドキドキ・時に悲しさを感じることで、人として大切な感情（喜怒哀楽）が育ち、心が育つ。人を思いやる心が育つ。感情の豊かな人間を育てる。



絵本を通して、友だちとの関係が深まっています

・絵本を使って、クッキングを楽しむことができる。食への興味を育てることができる。



絵本  
「ぐるぐるジュース」



ぐるぐるジュースつくれるかな…



絵本  
「ぐるぐるカレー」



食への興味も絵本を通して深めることができました。  
皆で作ると楽しいね！美味しいね！また作ろうね！

・絵本を通してごっこ遊びに発展する

絵本  
「おべんとうバス」  
おかいものごっこ



おべんとうバスの絵本  
だ〜い好き！

何を買おうかな…

給食先生〜  
買ってきました！

絵本  
「きんぎょがにげた」  
きんぎょさがし



きんぎょどこどこ！

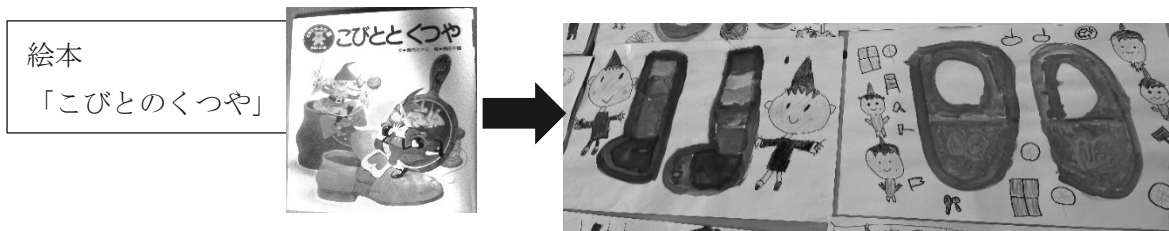
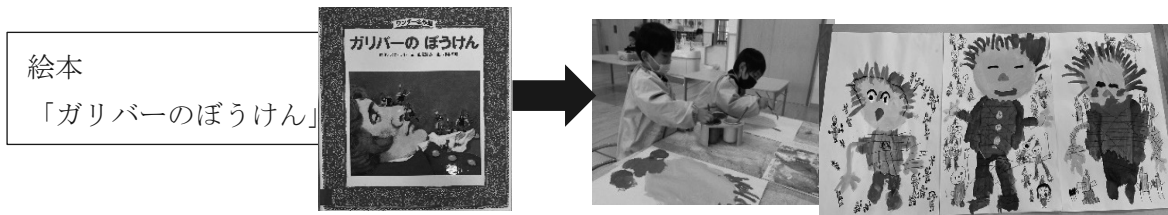
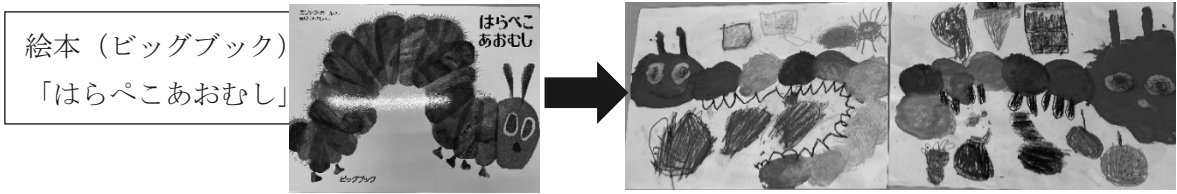
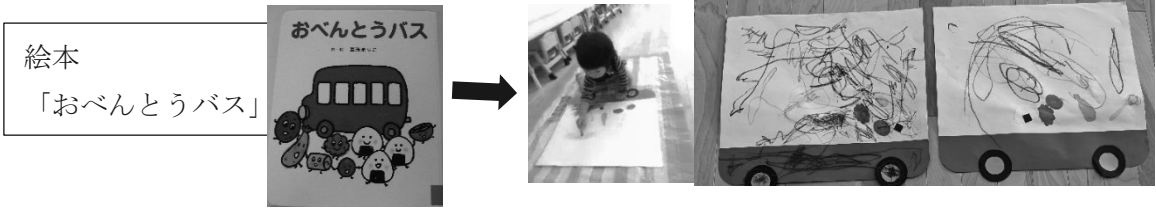
みーつけた！！

見つけたきんぎょは  
水槽にペタンコ！

・絵本の世界を楽しんで絵画の世界につながる

絵本  
「ねないこ だれだ」





絵本を通して想像力も広がり自分の思いを自由にだしてのびのび・生き生きと活動を楽しんでいます。

・絵本の世界を楽しんで劇あそび

絵本 (大型絵本)  
「おおきなかぶ」

大型絵本は、登場人物の表情も良くわかるので感情を読み取りやすいです。



#### ・園庭開放での絵本の時間

コロナ禍の中、核家族で孤独を感じている方も多いため、できる限り園庭を開放し同世代の親子さん同士の関り、保育士や園長との関りで悩みを共有できる機会を意図的につくっています。

子ども達は、大型絵本やアンパンマンシリーズの紙芝居が大好きです。



#### 4. 今後の課題と展望

貴社のお陰で、絵本の世界を子ども達に広げることができた一年間でした。改めて感謝を申し上げます。

子ども達に色々な絵本に触れ合う機会を与えることができ、輝く瞳を間近に見ることによって、職員一同絵本の持つ素晴らしい力を実感することができました。

絵本コーナーも1階に0.1歳児用、2階に2.3.4.5歳児用を設置しました。そして、朝の集まり、自由遊び、活動の合間、お昼寝の前、お帰りの時等に絵本と触れ合う時間を持ちました。それによって、自由に絵本を選び、楽しみ、友達関係が広がり、ごっこあそびや劇あそび、クッキングにも発展していきました。

絵本の貸出は、現在月に2回4.5歳児が行っています。保護者の方の中にはご自分の好きだった絵本と同じものをお子さんが借りてきて、親子で絵本の時間を楽しく過ごしているというお話を聞かせてくださった方もおられます。絵本のある生活で親子の心が通い、コミュニケーションが豊かになっていることも絵本の持つ力の再発見でした。

今後の課題としては2.3歳児、そして園庭開放の皆様にも貸出しができればと願っています。そのためにも引き続き良い絵本を増やして、子どもの興味・関心が持てるようにしていきたいです。

また年長児の「エルマーのぼうけん」「ももいろのきりん」「ロボットカミイ」「いやいやえん」等お話を聞いて、自分で想像し楽しめる童話絵本も3学期に入れていきたいと思えます。

今後も絵本を通して子ども達に好奇心・夢・希望・幸せを与えていきたいと願っています。

以上